

最優秀賞(一・二年の部)

ぼくんちのゆうはん

西会津町立西会津小学校 一年 塚原 弥

「せすじをのばして。おはしのもちかた。」またおかあさんにおこられた。かうんたーでとなりならんでたべるのが、いつものうちのゆうはんだ。

しがつからしやうがくせいになった。らんどせるはかっこいいけどすぐおもい。まいにちあるいてがっこうにいくのは、たいへんだ。おくつてといったけど、ままはがんばれしかいわない。あーあ、たまにはくるまでいきたいな。

すこししておとうとがうまれた。はじめてのきょうだい。すぐうれしかった。ちいさくてふにやふにや。ままはずつとおせわしてる。さいきんはだいどころで、たつてゆうはんをたべてる。すぐくはやい。ぼくにはちゃんとかみなさいっていうのにな。

それから、ぼくは、かぜをひいた。ままはいうことをきかないからだとおこつた。なんかいもようすをみにきてくれてぞうすいをつくってくれた。つぎのひにはよくなった。

そのなんにちかあとままもかぜをひいた。ままはすぐきつそうだったけどいつもとおなじようにいえのことをしてた。そのひのゆうはんはぼくのだいすきなからあげだったけどひとりでたべた。ままはおとうとのとなりでよこになって、ぼくをみてた。ぽつぽつはなした。しんぱいだ。

ままのかぜがよくなったあとのにちようび。「ひさしぶりにたこやきばーていーをしようか。」とままがいった。ぱぱとぼくのだいすきなたこやきだ。ざいりようをかいに、みんなのでかけた。ぼくのすきなものがてーぶるにいつぱいおいてある。このひは、かうんたーじゃなくて、りびんぐのおおきいてーぶるでみんなでたべた。すぐたのしかった。

そのひのよるねるまえに、ぱぱが、「ままが、みんなでたべるのはおいしいねっていったよ。」といった。ままもほんとうは、みんなとゆっくりすごしたいのかも。

ままはきびしいけど、いつもかぞくのことをかんがえている。よくしかられるのは、ぼくのことをおもってくれてるからだつて、ぱぱもいつてた。そのあとままは、ぼくのまえでたつてたべてることがおおい。こんど、おとうとのめんどうをみてあげたら、ままもすわつてたべられるかな。

あしたはにちようび。みんなでてーぶるでゆうはんをたべるひだ。めにゅーは、みんながだいすきはんばーぐとおむらいす。やっぱりうちのままは、さいこうだ。